

令和7年度 指定管理者業務実績シート

作成年月日 令和8年6月30日

部	教育委員会生涯学習部	課	生涯学習文化課
---	------------	---	---------

施設名・所在地	函館市民会館 函館市湯川町1丁目32番1号		
設置条例	函館市民会館条例		
指定管理者名	函館市文化スポーツ振興財団・コナミススポーツグループ	指定期間	令和7年(2025年)4月1日から令和12年(2030年)3月31日までの5年間
指定管理者の特別な要件		選定区分	公募 非公募
設置目的	市民の文化活動および集会等の用に供するため		
設置年月	昭和45年7月	建設費	671,230千円
構造規模等	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造, 一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階建 建物延床面積8,051.30㎡ 大ホール1,370席, 小ホール, 大会議室, 展示室, 小会議室1号, 小会議室2号, 和室等		
開館時間	開館時間 午前9時～午後10時		
休館日等	休館日 年末年始(12/31～1/3), 器材点検日(随時)		
料金体系	利用料金制の採用の有無 有(平成27年度～)		
<p>1 指定管理者が行う業務の内容および実施状況</p> <p>(1)管理業務</p> <p>ア 施設の維持管理に関すること(清掃, 警備, 施設・設備保守点検, AEDの管理, 備品管理等)</p> <p>イ 文化芸術を振興する事業の実施に関すること(鑑賞型事業, 参加創造型事業, 育成学習型事業, 奨励型事業, 共催事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞型事業(函館市民会館開館55周年記念 中村勘九郎 中村七之助 新録歌舞伎特別公演2025(2回) ざいだんアフタヌーンステージ2025(3回), シス・カンパニー公演「昭和から騒ぎ」(3回) 函館市民会館開館55周年記念 佐渡裕&シエナ・ウインド・オーケストラプラスの祭典2025) ・参加創造型事業(函館市民文化祭: 展示部門, 舞台部門) ・育成学習型事業(函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ(育成事業, 定期演奏会等), ざいだん「邦楽こども教室」(通年コース, 冬季短期コース), 市民会館の「コンシェルジュ」になろう!) ・奨励型事業(ざいだんアートマルシェ, スタインウェイを弾いてみよう!) ・共催事業(第43回公演 初春巴港賑, 第10回世界のこどもフェスティバル等) <p>ウ 利用者に関すること(案内・説明, 使用受付・使用制限, 連絡調整, 情報提供, 苦情対応等)</p> <p>エ 利用料金に関すること(利用料金の請求, 減免等)</p> <p>オ その他教育委員会が定める業務(生涯学習情報の提供, 各種書類の整理保管, 市への報告等庶務業務等)</p> <p>カ ホームページに関すること(ホームページの開設, 更新および維持管理)</p>			

(2)自主事業

ア 文化振興事業

鑑賞型事業

- ・劇団四季ミュージカル「赤毛のアン」函館公演
- ・YOASOBI HALL TOUR 2025 WANDARA函館公演
- ・函館市民会館 開館55周年記念「NHKのど自慢」

イ チケット販売

2 市民サービス向上のためのその他の取り組み実績

ア 広報誌「ステップアップ」、ホームページ、地元マスメディア、施設リーフレット、ポスター・チラシ、LINEによる広報活動

イ 苦情処理、緊急時対応の体制整備

ウ 職員研修の実施（新入職員研修、全体職員研修（2回）、新規採用者防火・防災研修会、電話/接遇対応・話し方講座、売上アップ接客向上セミナー、「続・問題社員への対応の仕方」セミナー、北海道舞台芸術情報フェア2025、問題社員・社内の人間関係トラブルセミナー、健康づくりセミナー、防火・防災研修会、地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会、財団職員研修「クレーム・カスハラへの実践対応」、新人・若手を育てるための勉強会、普通救命講習、中堅リーダー向け生産向上顧客コミュニケーション研修、健康づくりセミナー、ハラスメント実務対策講座、2026年新入社員セミナー）

3 市民ニーズの把握の実施状況

ア 利用者懇談会の開催（令和7年7月24日開催 13団体14名参加）

イ 施設利用者アンケートの実施（管理棟1階ロビーにアンケート箱を設置）

ウ 主催事業アンケートの実施

4 施設の利用状況

・令和7年度の月別利用者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	9,066	11,812	19,976	22,679	11,450	16,272	20,029	17,277	7,034	17,164	10,424	8,302	171,485

・年度別利用者数

← 当期指定期間 →

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数	89,118人	133,538人	156,215人	160,272人	171,485人
使用料収入	—	—	—	—	—

※ 平成27年度から利用料金制

5 指定管理者の収支状況

← 前 期 指 定 期 間 → ← 当期指定期間 →

(単位:円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	委託料	186,262,000	185,527,500	192,603,000	225,499,093
	利用料金収入	31,456,300	35,876,790	33,810,580	30,449,530
	事業収入	2,145,787	2,769,338	15,275,315	12,576,833
	その他の収入	△ 428,936	△ 1,250,270	△ 735,196	3,173,491
	計	219,435,151	222,923,358	240,953,699	271,698,947
支出	人件費	44,234,016	46,383,397	44,914,679	51,413,568
	燃料費	117,981	130,073	136,160	125,967
	光熱水費	27,754,608	30,940,808	22,959,649	31,900,269
	委託費	118,980,228	120,313,755	121,377,419	127,654,129
	修繕費	1,572,079	1,329,054	1,399,530	4,398,950
	その他の支出	29,001,978	27,871,552	52,289,234	56,206,064
	計	221,660,890	226,968,639	243,076,671	271,698,947
当該施設の利用者一人 当たり税金投入コスト	1,394	1,187	1,201	1,314	

※ なお指定管理者への収支補填額は次のとおり計上されている。

令和4年度分収支補填金 461,185円（令和5年度決算「その他の収入」に計上）

令和5年度分収支補填金 2,280,727円（令和6年度決算「その他の収入」に計上）

令和6年度分収支補填金 358,418円（指定管理期間終了のため本部会計に計上）

令和7年度分収支補填金 0円

6 モニタリングの実施状況および指定管理者に対する改善指示等の実施状況

実地調査の実施 有

ア 管理業務実績報告書を毎月提出, 事業報告書・財務諸表を年次提出

イ 利用者アンケートを実施

ウ 評価シートによる自己評価を実施

7 指定管理者に対する評価

① 指定管理者の自己評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回の財団内研修や中堅職員の外部研修会への参加の他、事業担当職員のWEB講習受講および財団職員有資格者による普通救命講習会を実施し、職員の資質向上に努めている。 ・利用申込時に事前打ち合わせ等を行い、大規模な催事については技術職員と共にニーズやご要望を聞き取りしながら利用説明を行い、利用者の利便性向上に努めている。 ・市民に人気の高いアーティストや著名な演奏家を招聘した講演を行うなど、各ジャンルに応じた事業を来館者アンケートに基づき市民ニーズにお応えするよう実施している。 ・地域で活動する音楽家や音楽団体・地域住民と連携し、協働で事業を実施している。 ・危機管理マニュアルおよび緊急連絡網を作成し、万が一の際に備えている。また、応急手当普及員の資格を持つ職員が救命救急講習を開催し、全職員に指導し、緊急時に利用者の安全を確保する体制を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カムチャッカ半島沖地震の発生を踏まえ、職員の防災意識の向上に努めるとともに、これからの的確な施設運営を行い、館の利用促進に努めていくとともに、維持修繕にも早急に対応し安心・安全な利用環境を提供したい。また、多くの市民のニーズをしっかりと分析・把握しながら計画する事業を開催し、市民の文化・芸術の振興に貢献していきたい。
サービスの 質の状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	<ul style="list-style-type: none"> ・公立施設文化協会主催の研修会に参加し、情報交換を行うことで知識を高めている。また、年に2回の財団内研修に参加することや、カスタマーハラスメント等クレーム対応や接客等の外部研修を受講することで、職員の業務に関する知識の水準および意識の向上を図っている。 ・ホームページによる広報活動や、無料広報誌「ステップアップ」を年4回発行し施設情報を周知している。また、地元新聞での広告掲出や取材依頼、ラジオCMや番組への施設情報の提供、そして新たにSNSツール「LINE」を導入し積極的に情報発信を行っている。 ・シニア大学において、ヒアリンググループの常設およびFMラジオ補聴システムを導入し、聴覚に障がいのある方への対応に努めている。 ・年2回ボランティア清掃への参加や函館市内の幼稚園等の施設見学や中・高校生の職場体験等の受入を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性が求められる昨今、障がい者への対応なども含め、積極的に様々な外部研修などにも参加し職員の資質向上に努めていきたい。 ・環境に配慮した経営、福祉対策の取り組みなどは、モデルとなる実例を研究し、また関係団体などと連携をはかりながら検討を重ねた上で、すべての利用者に喜ばれる施設運営を行うため、より一層サービスの向上に努めていきたい。
団体の経営 状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C	<ul style="list-style-type: none"> ・事業収支および経営状況ともに適正に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後においても、事業収支および経営状況ともに、よりいっそう適正に行うとともに、安定した事業運営に努めていきたい。

② 市の指定管理者に対する実績評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	<input type="checkbox"/> A	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回の職員研修のほか、施設の運営や、事業実施に関する各種研修に積極的に参加するなど、職員の資質向上に努めている。 ・利用内容の詳細な聞き取りや、主催者との事前打ち合わせを綿密に行い、丁寧な案内を心がけるなど、利用者の利便性の向上に努めている。 ・市民に人気の高いアーティストや伝統文化である歌舞伎の公演を実施するなど、多くの市民が高いレベルの音楽や芸術文化に触れる機会を提供した。また、55周年記念事業において、オーケストラを招聘し、当初の予定になかったワークショップを開催することができた。その結果、市内の中高生が普段受けることのできないトップレベルの演奏家からの指導を受けることができた。 ・地域で活動する音楽家や音楽団体との協働による市民等との連携により事業を実施している。さらに、函館市文化団体協議会と連携し、市民文化祭を開催している。 ・緊急時の体制が明確であったことにより、実際の避難所開設にあたり、初動対応が迅速かつ適切であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年のカムチャッカ半島沖地震の際には、適切に対応していただいたところである。今後も職員の防災意識の向上および防災対応に係る資質の向上に努めていただきたい。 ・日頃から保守点検を行い異常の早期発見に努め、施設の維持管理を適切に行うとともに、市費による修繕が必要なものは優先順位を考慮しながら計画的に市に予算要求している。 ・平成29年度から令和元年度まで実施した耐震等改修工事では、屋上および外壁の修繕を行えなかったことから一部雨漏りが発生しており、利用者へ影響を及ぼさないかが懸念であり修繕について検討する必要があるが、指定管理者には、異常等発生時の市への報告を引き続き行っていただき、状況を注視していただきたい。 ・今後も来館者が安全かつ安心して利用できる環境の保持に努めていただくとともに、多種多様な事業を実施することにより、市民の文化芸術活動の場や、市民が文化芸術に触れる機会の提供を図り、親しみを感じられる施設の運営に努めていただきたい。
	<input checked="" type="checkbox"/> B		
	<input type="checkbox"/> C		
	<input type="checkbox"/> D		
サービスの 質の状況	<input type="checkbox"/> A	<ul style="list-style-type: none"> ・道内の同業者が集う研修会に参加し、情報交換を行うことで知識を高めているほか年に2回の職員研修のほか、カスタマーハラスメント等クレーム対応や接客等の研修を受講するなど、館の運営に役立つ研修への参加により職員の資質を高める取組みを実施している。 ・ホームページ、無料広報誌「ステップアップ」、地元新聞やラジオ番組への施設情報の提供、LINEの活用ほか、職員が作成した事業のチラシ・ポスターの掲示など、積極的な情報発信を行っている。特にLINEではチケット情報などを中心に活用しており、売上に結びついている。 ・館で実施されているシニア大学において、ヒアリンググループの常設およびFMラジオ補聴システムを導入し、聴覚に障がいのある方への対応に努めている。 ・地域で活動する音楽家や音楽団体・近隣の飲食店との協働によるアフタヌーンステージを年3回実施するなど地域や地元音楽家と継続的な関係性を築いている。 ・年2回ボランティア清掃への参加や函館市内の幼稚園等の施設見学や中・高校生の職場体験等の受入を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も館の運営に必要な研修などに参加し職員の資質向上に努め、施設運営や事業実施に役立てていただくほか、各種イベント会社とのネットワークを拡大するなど、多様な公演事業を実施していただきたい。また、地域との関係性を引き続き大切にし、地元のアーティストが活躍できる様々な事業を実施していただきたい。 ・引き続き様々な媒体で市民に対する情報発信を行うとともに、利用者懇談会やアンケートによる市民ニーズの把握に努めていただきたい。
	<input checked="" type="checkbox"/> B		
	<input type="checkbox"/> C		
	<input type="checkbox"/> D		
団体の経営 状況	<input checked="" type="checkbox"/> A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業収支は適正であり、経営状況はおおむね良好である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も適正な事業収支、健全な経営の確保に努めていただきたい。
	<input type="checkbox"/> B		
	<input type="checkbox"/> C		

◎ 「業務の履行状況」「サービスの質の状況」

- A 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準以上がなされている。
- B 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準どおり行われている。
- C 協定書の遵守しているが、事業計画書及び仕様書の水準をやや満たしておらず、課題がある。
- D 協定書や事業計画書に不履行がある。または、業務水準を満たしていない。

◎ 「団体の経営状況」

- A 事業収支、経営状況に問題はない。
- B 事業収支、経営状況の今後に注意を要する。
- C 事業収支、経営状況に早急な改善を要する。